

# 持続可能な社会づくりに貢献することができる生徒の育成

—SDGsを見据えた学校での課題発見の支援と発信したい内容の充実に向けた協働学習を通して—

特別研修員 外国語 矢畑 英里（中学校教諭）

## 生徒の実態

- 社会的な話題になると、発信する内容をどう考えたらよいか分からない
- 英語で言いたいことをどう表現すればよいか分からない

## 教師の願い

- 様々な視点から物事を見て、理解を深めてほしい
- 考えを伝え合い、自分の考えを発展させてほしい

### 手立て①

#### SDGsを見据えた学校での課題発見の支援

##### ●SDGsの視点を通して人物について考えさせる

実践例：単元名「Unit5 What Can Photos Tell?」  
SDGsに貢献した人物について後輩に紹介しよう



Which goal did she work for?  
彼女はどのゴールに貢献したのでしょうか。



She is the first African woman to win the Nobel Peace Prize. ということは、No16の平和にも関わっているのかな。

僕は北里柴三郎について調べて紹介してみたい

##### ●後輩へ紹介したい人物についてのスピーチを行う

SDGsのような考えをもつ人は、どの時代にも世界中にいるということ、そのような人がいるから、実際に世界がよい方向へ向かおうとすることを知ってもらいたい。

(スピーチをした生徒の振り返り)



アンリデュナンの写真や名前は知っていたけれど、SDGsに貢献した人だとは知らなかった。小学校の頃知った人物のことが詳しく分かってよかった。(後輩からのコメント)



### 手立て②

#### 発信したい内容の充実に向けた協働学習

##### ●紹介したい人物についてのメモを付箋に書く

人物のプロフィール	SDGsとの関わり	人物に対する思い
The person I want to introduce is... He was born in... He was a leader of...	He helped with goal No.4. He built a school called...	I think he is a great person... He is cool.
He helped with goal No.4. He built a school called "松下村塾".		

##### ●ペアでやり取りをして、さらに内容を付け足していく

She was a woman who founded "津田塾大学" in 1900.

Who is she?

... I don't know. (調べて入れてみよう)

When was she born?



##### ●話し合っ、スピーチをより伝わりやすくする

<スピーチの再構築の視点>

- A: 貢献しているSDGsは他にもあるか検討
- B: 後輩にとってより分かりやすい表現に
- C: 伝えたい人物の情報をプラスする



ヘレン・ケラーは "deaf and blind" 後輩は分かるかな?

「耳が聴こえず、目も見えなかった」と言いかえられる。She couldn't hear and see.と変えてみよう。

自分では分からなかったことが友達に聞いて分かった。

botanyやzoology (植物学・動物学)は発音も言葉自体も難しいね。クラーク博士は理科の先生で、動物や植物について教えていたとすればどう? He was a science teacher who taught about animals and plants.



## 目指す生徒像

- 持続可能な社会づくりのために社会の課題に目を向け、解決の方向性を見出すことができる生徒
- 既習事項を活用して、自分の考えを英語で伝えることができる生徒

## 成果

- SDGsの視点を通してテーマや人物について考えさせたことによって、平和、人権、教育など様々な面に目を向け、学習課題について理解を深めることができた。
- ICTを活用して協働的に学ぶことによって、自分の考えがより分かりやすく英語で伝えられるようになった。

## 課題

- 平和や環境などSDGsとの関連が明確なテーマではない場合、関連が見出しにくく、その視点を通して考えさせることが難しい。
- スピーチを再構築させる際、内容面の視点(A,C)をまず考えさせ、最後に言語面の視点(B)から修正をさせたい。